

第17課 歌舞伎を見たことがあります

大切な表現

1. 日本へ行ったことがあります。
2. 授業が終わったばかりです。

Can-do／学習目標

- ・過去の自分の経験を話すことができる。

文法項目

1. ～たことがあります
2. ～たばかりです

導入

1. ～たことがあります

①板書 A: **動詞た形**＋ことがありますか。(経験の有無表現)

B: $\left\{ \begin{array}{l} \text{はい、あります。} \\ \text{いいえ、ありません。} \end{array} \right.$

②世界地図や日本地図を準備し、教師が**国名/地名**へ行ったことがありますか。と質問し、学生に上記のように答えさせる。

2. ～たばかりです

①板書 **動詞た形**＋ばかりです。(主観的な時間の短さの強調表現)

②下記のようなイラストを見せながら、イメージを掴んでもらう。



生まれたばかりです。 小学校に入ったばかりです。 ご飯を食べたばかりです。

教え方のワンポイント

1. ～たことがあります

練習1-I 日本へ行ったことがあります。

*まず、た形の復習をする。

*「**動詞た形**＋ことがあります(経験の有無表現)」は、過去にその行動を「一度でもしたことがある」かどうかを述べる文型で、期間や能力は重点ではないと伝える。

- [例1] 旅行：私は日本へ行ったことがあります。
- [例2] 趣味：私はスキーをしたことがあります。
- [例3] 趣味：私は日本料理を作ったことがあります。
- [例4] 食べ物：私は納豆を食べたことがあります。
- [例5] 経験：私は銀行に勤めたことがあります。

* 「**動詞た形**+ことがあります」は「経験の有無表現」を表すのみで、具体的な過去の時間を表す言葉とは一緒に使用しないことを強調する。

- ：私は日本料理を**食べた**ことがあります。（経験の有無表現）
- ×：私は**先週**、日本料理を**食べた**ことがあります。
- ：私は**先週**、日本料理を**食べました**。（単純な過去表現）

練習 1-II A：日本へ行ったことがありますか

B：ええ、一度あります。

* 「**動詞た形**+ことがあります」は「過去の経験の有無表現」を表すので、過去形（た形）で答える学生がいるが、質問と同じ形式で答えることを強調する。

板書 A：日本へ行ったことがありますか。

B：はい、
 { 行ったことがあります。：○
 行きました : ×

* 日本語では「**動詞た形**+ことがありますか」の質問に「はい、あります」「いいえ、ありません」で答えるのが自然だが、中国語では「有/沒有」で答えるのが一般的なため、質問の答え方を明確に教える。

[例] 日本語

A：日本の映画を見たことがありますか。

B：はい、あります。/いいえ、ありません。

[例] 中国語

A：你有看過日本的電影嗎？

B：有（はい）。/沒有（いいえ）[→從來沒有]。

* 肯定/否定での答え方を教科書の練習をする前に、よく確認させる。（其他文法事項1）

はい、
 { 何度も
 一度
 一度だけ } あります。
 { あります。

いいえ、
 { 一度も
 一度しか } ありません。
 { ありません。

練習 1-III A：歌舞伎を見たことがありますか。

B：ええ、一度あります。

A：いつ見ましたか。

B：2年前に見ました。

* 板書 経験の内容に関する疑問詞がある質問

日本へ行ったことがありますか。

- ・いつ行きましたか。
- ・誰と行きましたか。
- ・どこへ行きましたか。
- ・どのくらい行きましたか。
- ・何をしましたか。

* 過去の経験の内容について話しているので、過去形で答えることを強調する。

[例] A: 日本へ行ったことがありますか。 B: はい、行ったことがあります。

- | | |
|---------------|----------------|
| ・いつ行きましたか。 | ・先月行きました。 |
| ・誰と行きましたか。 | ・友達と行きました。 |
| ・どこへ行きましたか。 | ・北海道へ行きました。 |
| ・どのくらい行きましたか。 | ・1週間行きました。 |
| ・何をしましたか。 | ・銀座でかばんを買いました。 |

* 疑問詞「どんな」は、単独では使用できず、「どんな+**名詞**」で使用すると再確認する。

2. ～たばかりです

練習 2-I 授業が終わったばかりです。

- * 「**動詞た形**+ばかりです。」は、主観的な時間の短さの強調表現で、文脈次第で1秒前、1分前、1時間前、数か月前のことにも使用でき、中国語では、「剛剛」「才」と訳されると伝える。
- * 「**動詞た形**+ばかりです。」は、主観的な時間の感じ方による時間の曖昧さを伴う表現のため、具体的な過去の時間を表す言葉とは一緒に使用しないことを強調する。

○: ごはんを**食べたばかり**です。 (主観的な時間の短さの強調表現)

×: **5分前に**ごはんを**食べたばかり**です。

○: **5分前に**ごはんを**食べました**。 (単純な過去表現)

練習 2-II A: 素敵な靴ですね。

B: ええ、昨日買ったばかりです。

- * 「割り勘にしましょう」の「割り勘」は、「平均分攤費用」という支払いの際に使用する表現で、ほかに「別々」という表現があることも紹介する。(其他文法事項2)
- * 「割り勘にしましょう」の「～にする」は、「決定表現」だと説明をする。(其他文法事項2)
- * 「新しい会社に慣れましたか。」の助詞「に」の使い方を説明する。(其他文法事項3)

会話 1

- * 「あまりよくわかりませんでした」の「あまり」は、第7課で学習した「あまり+動詞の否定形(頻度表現: GoGoGo 1: p 134 重點句型2)」とは異なり、「あまり+形容詞の否定形(程度表現: GoGoGo 1: p 145 会話2)」のようなのだと説明する。(其他文法事項4)
- * 時間に余裕があれば、歌舞伎について紹介してもいい。(p 159 你知道吗? 「歌舞伎」)